

第3回改定検討委員会 主なご意見

主な意見	対応（案）
<p>①目指すべき将来像のすみだらしさについて</p> <ul style="list-style-type: none"> すみだらしさ、下町らしさが消えているのはどう いうことか。変更内容にすみだらしさはないのか すみだらしさと書いておくことで、区民が考える 意識が出る。そのことが大事と考える 個性がきらりという中身を書いた方が良い。下町 らしさ、ものづくり、下町らしさ、住工共存など 残しておきたい言葉を出した方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> 「すみだらしさ」、「下町文化」、 「ものづくり」など、すみだを意識 できる文言を都市像に追加する 【追加資料① P. 18】 改定の目標に「すみだらしさ」につ いて追記する 【追加資料① P. 17】 都市像の具体的な要素を追記する 【追加資料① P. 19】
<p>②定住（住まい）について</p> <ul style="list-style-type: none"> 住まい（定住）として住まいに力点を置くべきで はないか 定住（住まい）は、「住まい」だけでも良いので はないか 子育て層に住んでもらうことについては、「誰も が安心して住み続けられる住まいづくり」の一部 としたらどうか 部署間の連携など分野を超えたつながりを一步踏 み出せる記載が増えるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> 分野別の名称を「住まい」に修正す る 【追加資料① 表紙ほか】 子育て世帯の定住については、子育 て支援とともに、アメニティの向上、 防犯対策や教育など、多様な分野に よる環境整備や連携が必要なことか ら、「（5）子育て環境の向上」を 追加する 【追加資料① P. 34】 「推進方針」に、部署間との連携に ついて検討する
<p>③産業の誘致について</p> <ul style="list-style-type: none"> 風間人口を意識すると産業誘致のことも出てくる。 産業誘致をするのかどうかを明確にした方がよい これからの時代の先端を行く企業が少しずつ集ま ってきている。そうした内容が文章の言葉の表現 で出来るとよい 	<ul style="list-style-type: none"> 「産業・観光」の方針（3）及び方 針（4）の記述を充実させる 【追加資料① P. 40】

<p>④防災の方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 交流人口、移動人口の増加は観光施策だが、その結果、昼間に地震が起きた時に大丈夫か等、住民だけでなく、時間別の交流人口、移動人口のイメージを持った方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> • 「安全・安心」の方針（２）２）の記述内容を充実させる 【追加資料① P. 32】
<p>⑤向島の花街について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 景観に関連して、向島の花街を今後どうするのか。文化を前面に出した景観整備をそろそろしないと手遅れに近い 	<ul style="list-style-type: none"> • 現行都市計画マスタープランの花街に関する記述を継承しつつ、内容については関係課と調整する （現行都市マス P26、P96、P121参照）
<p>⑥土地利用の方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 土地利用の方針（２）は、方針（３）に含まれる内容ではないか。 • 土地利用誘導方策の活用の中に、エリアマネジメントの考え方を入れた方がよい • 時代が発展型の都市計画から維持管理にシフトしている中で、マネジメントについてどこに書くのか。新しい産業として育成していくときに、土地利用の規制をなくした方が良いということもある。融通無碍にやった方が良いのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> • 土地利用の方針（３）に開発事業の誘導に関することやエリアマネジメントについて追加する 【追加資料① P. 24】
<p>⑦改定の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資料３のP14「改定の視点」において、それぞれの視点同士の関連が見えた方がよい（例：これまでのまちづくりの活動の継承とマネジメントの視点との関連） 	<ul style="list-style-type: none"> • まちづくりの展開の過程を考慮し、改定の視点を整理する 【追加資料① P. 14】
<p>⑧水とみどりの方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 区が実施することが中心になっているが、大規模敷地の緑化や下町の庭先の緑など、事業者や区民の関わりがわかるようにした方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> • 「水とみどり」の方針（３）に区民、事業者の視点について追加する 【追加資料① P. 28】

<p>⑨道路・交通の方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通についてモード別になっているが、区民のスムーズな移動につながる視点を入れるとより良い 	<ul style="list-style-type: none"> 「道路・交通」の方針（２）３）及び方針（３）１）に日常生活の利便性向上について記述する 【追加資料① P. 26】
<p>⑩安全・安心の方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> 水害に関する記載をもっと書いた方良い。今の記載だと地震への対応が中心に見える 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模水害時における広域避難など、新たな取組みについて記載する 【追加資料① P. 32】
<p>⑪高齢化への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化は大前提となっているが、それに対して危機感がないのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者への配慮（例：災害時における安全な避難）の視点を追記するなど、高齢化への対応について記述する
<p>⑫将来都市構造について</p> <ul style="list-style-type: none"> 拠点や都市軸という表現はこれからの時代どうなのか 東京都もこれから観光産業の比重が高まる。軸や拠点で表現しきれないことがありそうである。それをどう表現するか 都市計画法ができたところからの遺物のような拠点や軸というものが大きく影響している。面としての捉え方や小さい施設の表現ができない 	<ul style="list-style-type: none"> 将来都市構造図は、都市づくりの拠点と骨格を示すものとして今後も継承する 面的なまちづくりについては、将来都市構造の補足図として追加する 【追加資料① P. 22】